

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議(第10回)				
開催日時	平成22年5月18日(火)午後7時00分～9時00分				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>出席者: (委員)神谷・小林・小山・島崎・土田・當間・森・吉井・吉満 敬称略</p> <p>(市事務局)教育部長 曾我・社会教育課長 神山・生涯学習係主任 野沢</p> <p>欠席者:(委員)桑原 敬称略</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	2名
会議次第	<p>1. 委嘱状交付</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 今期研究テーマについて</p> <p>(2) 第4次総合計画について</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 第12回会議日程について</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係</p> <p>担当者名 神山・野沢・野崎</p> <p>電話番号 042-393-5111(内線3513)</p> <p>ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1. 委嘱状交付 曾我教育部長より小林一郎氏へ委嘱状交付</p> <p>2. あいさつ 議長、教育部長よりあいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 今期研究テーマについて 議長 行政各所管から社会事業等の報告がありこれに沿い、各事業の提言・質問事項についての報告、各委員から5月・6月をめぐりにキーワードを決めてもらい、7月にテーマを決定し、9月までにシートで承認の集約を取り込んでいきたい。</p>					

これについてご意見を伺いたい。

A 委員

テーマの聞き取りであるがもう少しわかりやすいアンケート用紙にしていただきたい。

B 委員

委員がアンケートだけでなく現場に足を運ぶことは、みんなの活動を見ることが大切であるためその場に出て聞き取りをして行きたい。

C 委員

提言しても下におりて実行可能であるか。

議長

答えやすいアンケートがよいので、社会教育課で提出していただいたアンケートを参考にし、次回のたたき台を作り、議論していきたい。

D 委員

社会教育関連事業についての議論でよろしいか。

議長

社会教育関連で進めて生きたい。

新しいアンケートについては次回会議において使用したいので出来次第各委員へメールにて送付する。アンケート用紙には問題点・課題・希望・行政への要望等を新たに付け加える。

提言書の報告は来年7月までに報告したい。

今年度5・6月において頭出し、7月にテーマとして進めていきたい。

副題は社会教育のあり方、

部長

各課の審議会で出た意見をこの委員会で協議していただく。

また、社会教育にターゲットを絞り協議していただいてもよいのではないか。

他機関との連携も考えて調査をしたらどうか。

(2) 第4次総合計画について

議長

第4次総合計画パブリックコメントについて、ご意見があれば述べていただきたい。

E 委員

総合計画審議会については教育委員でよいのでは。

F 委員

G 委員

個人的意見として、第4次総合計画素案の中に東村山らしさの文言が各ページに出てきているが東村山らしさとは、何でしょうか。

部長

産業の振興では水と緑の豊かな自然環境や鉄道交通の利便性が東村山らしさであり、各部課の課題として、東村山らしさ、ではないか

G 委員

多摩全生園の活用・市内企業や高等学校の活用について。

議長

市内にある資産・社会教育的ソフト・企業・商業の特徴的なものの活用が必要である。

課長

東村山高校・東村山西高が今回文化のつどいに出展している。

4．その他

(1) 第12回会議日程について

第12回会議 平成22年7月23日(金)午後7時～ 教育委員会室
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

5．閉会